

「再発又は難治性 B 細胞性急性リンパ性白血病患者におけるブリナツモマブ外来投与の
安全性および有用性の検討」

○研究の概要と目的

再発又は難治性の B 細胞性急性リンパ性白血病に適応があるブリナツモマブは、薬剤の特性上 1 回の治療あたり 28 日間の持続した点滴が必要です。そのため治療を受ける患者さんの Quality of Life（以下、QOL）低下が懸念される治療となっています。

近年、患者さんの QOL 向上を目指して携帯型輸液ポンプを用いた外来通院型の治療を導入する施設が複数報告されています。今回、当院においても携帯型輸液ポンプを用いた治療の運用方法を整備し導入を行いました。その取り組みと導入後の経過について調査を行うことでより安全で質の高い医療の提供に貢献できると考えます。

○研究の方法と内容

本研究は 2024 年 4 月～2026 年 3 月までの期間に携帯型輸液ポンプを用いた外来通院型の治療を導入した患者さんを対象としています。診療で得られたデータ（性別、年齢、副作用発現状況、予定外受診時の事由）を電子カルテにて後方視的に調査を行い分析します。

また、対象となった患者さん・医療スタッフへアンケートを行い、満足度調査を行います。

○本研究の参加について

本研究により患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に取り扱います。本研究にご質問のある方、ご自身のデータを使用しないでほしいと希望される方は末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

○実施期間

研究対象期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 9 年 3 月 31 日まで

○研究成果の発表

研究成果は集団として分析し、学会や論文で発表します。またこの研究成果を発表する場合、患者さん個人が特定されることはありません。

○研究代表者

国立病院機構 熊本医療センター 薬剤部 馬場 結子

○当院における研究責任者

国立病院機構 熊本医療センター 薬剤部 馬場 結子

○問い合わせ先

国立病院機構 熊本医療センター 薬剤部 馬場 結子

電話：096-353-6501（代表）